

教育目標 「希望に燃えて 伸びゆかん」
心やさしく、人を大切にする子 自分の考えをもち、共に学び合う子
自分を表現し、相手を大切にする子 ふるさとを愛し、誇りに思う子

〒625-0133 舞鶴市字平 1583 番地
TEL (0773)-68-0002
FAX (0773)-68-0007
HP <https://oura-maizuru.edumap.jp/>



「問い」は学びの出発点



～ 充実した夏休みを ～

登校してすぐに学級の花や野菜に水やりをする児童たち。6月に梅雨が明け、気温が上昇するにつれて児童が水やりをする回数が増えました。先日の週明けにはハウセンカがしおれているのを登校してきた児童が発見し、その無残な姿に呆然と立ち尽くしていました。（もちろんその後水をたっぷりとやっていました。）水が必要なのは植物だけではありません。我々も熱中症対策としてこまめな水分補給を心掛けたいものです。



さて、6月19日（木）・20日（金）、5年生は朝来小学校の5年生と合同で国立若狭湾青少年自然の家に野外活動へ行きました。カッター訓練やシュノーケリング、キャンプファイヤーなど、自然の中で普段できない体験活動をたくさんしました。ある児童は、「シュノーケリングをしていろいろな生き物に触れ合えました。ヒトデやムラサキウニは空気に数分置くと、足が生えてくると聞いてびっくりしました。なぜだろうと思ったのでまた調べてみたいです。」と感想を書いていました。実際にそれらの生き物を水中で見ているからこそ強く心に残ったのだと思います。自然界は不思議なことや知らないことがたくさんあります。

また、5年生は社会見学として7月3日（木）に朝来小学校の5年生と合同で日本国際博覧会（関西万博）へ行きました。いくつかのパビリオンを見学し、科学の最先端技術を駆使した未来の生活や、自然との共生の工夫、諸外国の文化などを学び、とても心に残ったようです。ある児童は「関西万博に行って思ったことは、展示や説明から疑問や気になったことを考えることで、たくさんの方が知ることができます。」と感想を持ちました。野外活動や万博見学は児童の「問い」を誘発し、これからの学びに良い刺激を与えてくれるものでした。学校での様々な学習活動でも「問い」を大切にしています。児童の周囲には知らないことがたくさんあります。その1つに向き合って「どうしてだろう。」「なぜだろう。」と考えることは、主体的な学びの出発点となります。

イギリスでは、「多くを問う者は多くを学び、多くを保持する」ということわざがあります。自分で調べてみたいと思って学習したことはいつまでも記憶に残り、自己の成長に大きく役立ちます。

明日から長い夏休みとなります。夏休みにしかできない体験や活動から疑問をたくさん見つけ、その解決に向けて納得するまでとことん追究してほしいと思います。今後も猛暑が予想されます。健康に、また交通事故に遭わないよう安全に留意していただき、2学期には、たくましく元気な姿で44人の児童と会えることを願っています。どうぞ充実した夏をお過ごしください。

校長 鎌野 高信 教職員一同

○本校教育活動の広報発信の一つとして、学校ホームページを随時更新いたします。
右記のQRコードからも開くことができます。ぜひ御覧ください。

